

育児講座 3月3日(土)10時~ 「これからママパパになる方へ」

生まれてくる赤ちゃんや我が子のために「スタイクリップ」を作りました。
妊婦さん同士が集まって「何ヶ月ですか??」「出産予定日は??」とおしゃべりしながら楽しそうにクリップ作り。
でも・赤ちゃんとの生活が楽しみな反面これからはじまる未知の世界に不安も出てきます。
出産時ってどんな感じだろう
子どもがいる生活ってどうなんだろう
でも一緒に参加してくれた先輩ママが
「出産時痛みはあるけれど、痛くない時もあるし頑張れるよ!」
「大丈夫。何とかなるよ!!」
「子育てって大変だけど、子どもの成長を見守ることは楽しいよ。」と「安心」につながる言葉をたくさんかけてくれました。
今度は赤ちゃんと一緒にあそびにきてね♪

参加者の声
●久しぶりに家族以外の人とおしゃべり出来て楽しかった。(Sさん)
●一緒に参加してくれた子を見て、一年後はこんな風になっているのかなと感じました。(Mさん)

みんな でぎゅ!

さくらんぼtantokuruセンターには、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センター、遊びセンター(けやきホール)の子育て3(SUN)センターがあります。各センターが太陽(SUN)のようにあたたかく子どもたちの成長を見守っています。「みんなでぎゅ!」は3(SUN)センターとみなさんをつなぐ通信です。

けやきホール 進化中

少しずつ変わってきています。どこが変化したのでしょうか?

1. おままごとコーナー

ボールプールの横におままごとのコーナー。いまや小さなお友達の居場所になっています。ボールプールのボールが野菜になったり、お肉になったり、子どもたちの発想を聞いているとおもしろいです。



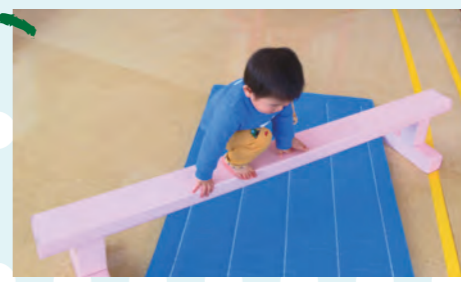
2. えほんのへや

1階の子どもシアターが「えほんのへや」になりました。絵本はもちろん、料理の雑誌もあります。今晚のメニューに役立つかも。「いいいの場」になるといいな~



3. 平均台

けやきホールの中に平均台が登場!! 自分のバランス感覚を試してみよう!! 登ったり、渡ったりはもちろん、綱渡りゲーム、時には椅子になったり、くぐったり、いろんな年代の子どもたちに人気です。



4. オセロ・将棋

いつも遊びに来る小学生たちがつくりました。ルールは違ったりするけど小さい子にも大人気!!



5. 工作セット

いつもではないけれど、紙や折り紙、ペン、のり、はさみなど工作セットの箱が登場しています。



その他にもいろんな変化が起きているけやきホール。遊びにきた時、どこが変わったかを見てみてね。

東根市さくらんぼtantokuruセンター

利用時間 9:00~18:30
休館日 毎月第2水曜日、1月1日
WEB <http://www.tantokuru.jp>
〒999-3796 山形県東根市中央1丁目5番1号
TEL 0237-43-1155 FAX 0237-41-2232

- 子育て支援センター
●ファミリー・サポート・センター
TEL 0237-43-0731
FAX 0237-43-0732
メール popotan@tantokuru.jp
- 遊びセンター(けやきホール)
TEL 0237-43-0733

移動子育てサロン 「おひさま」

地域に根ざした子育て支援をめざし、東根市内3か所の公民館に出向いて移動子育てサロンを開催しています。今回は移動子育てサロンの1年間の様子をプレイバック!!



しゃぼん玉や水遊び、木陰でおひさまの光や風を感じながら過ごすのも気持ちがいいものです。



天気いい時は外にも飛び出すよ!

平成30年度の移動子育てサロン「おひさま」は…

**第1・3水曜日は神町公民館
第4水曜日は大富公民館で開催します**

子育て・孫育て中の方と地域みなさんも一緒に子どもたちの成長を見守っていきたいですね♪



子どもたちは畳のひろ～いお部屋でのびのびと遊んでいます。同じくらい年齢の子や自分より小さい子みんながお友だち、1人で夢中で遊びこむ子、お友だちのまねっこを楽しむ子、小さい子が気になる子、ケンカしながらも一緒に笑い合ってる子いろいろな子どもたちの姿があります。大人はゆったり見守って子どもたちの成長を感じています。おしゃべりしたり編み物をしたり時には大人の息抜きも大切ですよね。



利用者の声 /

- 家から近いので大変助かっています。近所の方々とお話ししたり交流できるのは子どもにも親にもいい刺激になっていると思います。たくさん利用させていただきます。(Sさん)
- 山形に引っ越してきて全く知り合いがいなかったため近くで色々な方々とふれあう場があってよかったです。ありがとうございました。(Tさん)

子育て支援者講習会 『親子に寄り添う 子育て支援を考える』

開催日：平成30年2月22日(木)

午前は、講師の永野氏から3.11東日本大震災の時に、福島県白河市で被災した親子の様子をお話していただきました。被災した親子は笑顔がなく、周りに気をつかい過ぎており、その際、永野氏がどのように親子に寄り添ったかを教えていただきました。親子に寄り添う支援者として大切な「あ・き・ら・め・な・い」という合言葉について話されました。この合言葉は、親としても心にいれておきたい大切なものだと思います。

午後は、永野氏が、親子にリラックスして遊びを楽しんでもらうために自ら考案した「子育て支援の親子遊び30分プログラム」を行いました。永野氏のわらべ歌に合わせてみんなで親子遊びを始める、緊張した様子だった参加者の方たちがどんどんニコニコ笑顔に♪子どもが笑顔になると大人も笑顔になるということが目に見える親子遊びでした。



永野美代子氏
(NPO法人子育て環境を考える会虹の会理事長)



「あ・き・ら・め・な・い」とは…

- あ：あせらない
- き：きたいしない
- ら：らくをしない
- め：めだたない
- な：ないものねだりをしない
- い：いつもいっしょというまなざし



参加者の声

- 「あ・き・ら・め・な・い」の合言葉は、母親としてもあてはまると思いました。(Oさん)
- 子どもがたのしい動きを好きな歌にあわせて家でも楽な気持ちでやってみよう。(Yさん)
- 遊びにも流れ、リズムなどがあり寄り添うことが大切だとつくづく思った。(Mさん)
- おもちゃやスマホなどなくても、こんなに子どもが楽しい時間を過ごせるんだな～と感じました。(Nさん)

